

実物全身骨格の設置・組上げ作業等スケジュール表

1/22 (日)	1/23 (月)	1/24 (火)	1/25 (水)	1/26 (木)	1/27 (金)	1/28 (土)	1/29 (日)	1/30 (月)	1/31 (火)	2/1 (水)	2/2 (木)	2/3 (金)	2/4 (土)	2/5 (日)	2/6 (月)	2/7 (火)	2/8 (水)	2/9 (木)	2/10 (金)	2/11 (土)	
	休館日	休館日	休館日	休館日	休館日												休館日				
1F 「恐竜の世界」ゾーン						現在展示してある 標本の解体・撤去		手すり、解説パネル設置、 撤去した標本の再設置等													
						フレーム設置、 骨盤組上げ	胴体～尾・肋骨 組上げ	脚・頭 組上げ	頭骨設置												
						② ヘスペロサウルス ③ エドモントニア 実物全身骨格 組上げ作業						① トリケラトプス 実物頭骨 設置作業									
						現在展示してある 標本の解体・撤去		手すり、解説パネル設置、 撤去した標本の再設置等													
2F 「生命の歴史」ゾーン						現在展示してある 標本の解体・撤去		骨格設置	手すり、解説パネル設置、 撤去した標本の再設置等												
						④ ディメトロドン 実物全身骨格 設置作業															
						支柱・フレーム設置		胴体～尾・肋骨 組上げ	腕・脚・頭 組上げ												
						⑤ エラスモサウルス 実物全身骨格 組上げ作業															
その他の哺乳類、魚類など(⑥～⑭)の設置作業																					

※ ○印の番号は、別添「新たに常設展示する標本一覧」の番号です。

※ 常時、作業をしているわけではありません。

※ 作業の進捗により、作業内容やスケジュールを変更する場合があります。

※ 作業終了後は、そのまま常設展示となります。





新たに常設展示する標本一覧

No	区分	標本名	状態	展示場所	備考
①	恐竜	トリケラトプス頭骨	実物	1 階 「恐竜の世界」ゾーン	
②	恐竜	ヘスペロサウルス全身骨格（世界初公開）	実物	〃	組上げ作業あり トゥオジャンゴサウルスと入替え
③	恐竜	エドモントニア全身骨格（日本初公開）	実物	〃	組上げ作業あり
④	哺乳類型爬虫類	ディメトロドン全身骨格（日本初公開）	実物	2 階 「生命の歴史」ゾーン	複製を実物に入替え
⑤	海生爬虫類 （首長竜）	エラスモサウルス全身骨格	実物	〃	組上げ作業あり 複製を実物に入替え
⑥	海生爬虫類 （魚竜）	ステノプテリギウス全身骨格	実物	〃	腹部に幼体を有する標本に入替え
⑦	翼竜	プテロダクティルス全身骨格	実物	〃	複製を実物に入替え
⑧	魚類	シーラカンス全身骨格	実物	〃	
⑨	魚類	シファクティヌス全身骨格	レプリカ	〃	
⑩	哺乳類	アルシノイテリウム頭骨	レプリカ	〃	
⑪	哺乳類	メガケロプス頭骨	実物	〃	
⑫	哺乳類	スミロデクテス全身骨格	実物	〃	
⑬	哺乳類	メリコイドドン全身骨格	実物	2 階 エントランスホール	
⑭	哺乳類	ヒエノドン全身骨格	実物	〃	

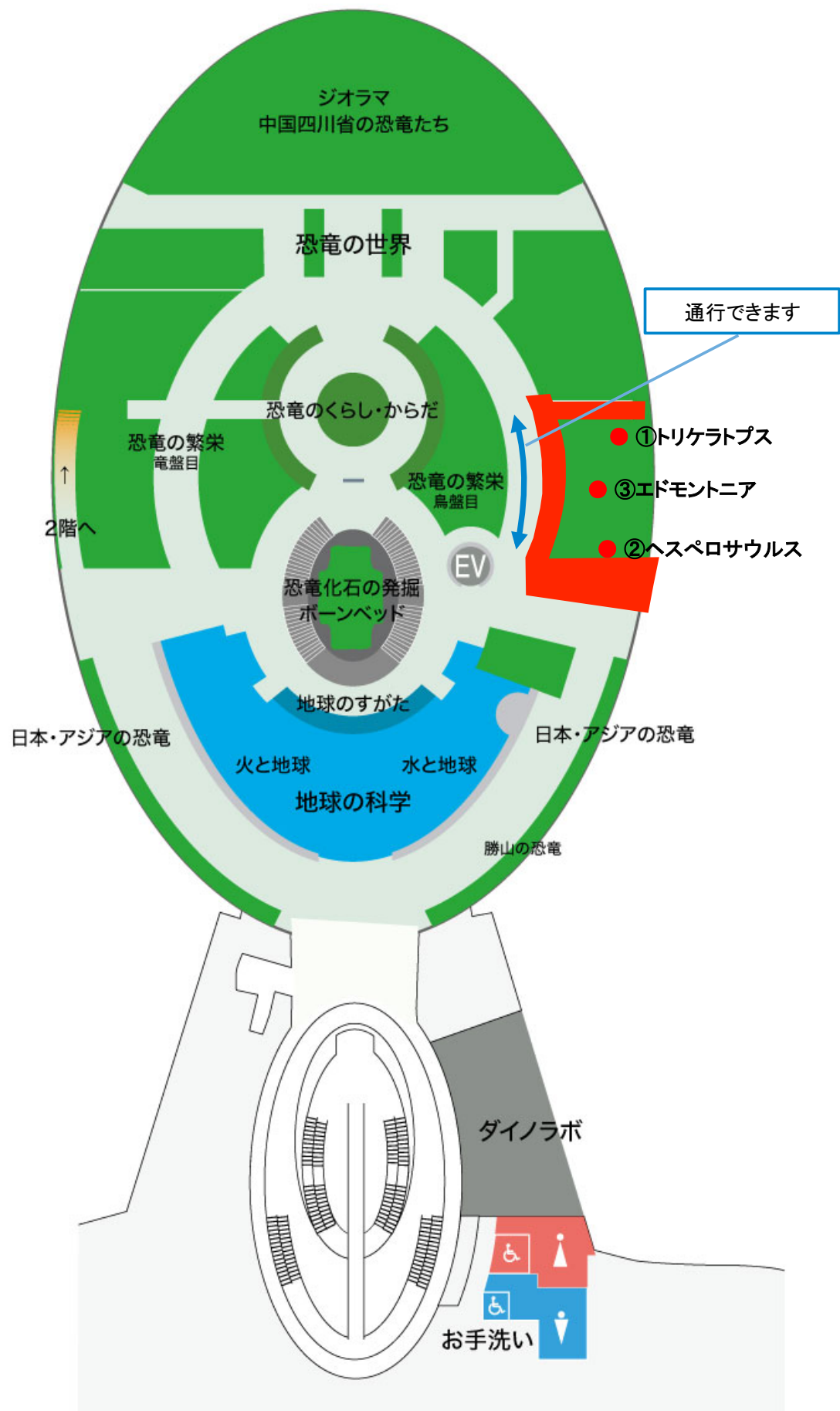
## 標本の概要

<p>① トリケラトプス頭骨（実物）</p> <p>学名： <i>Triceratops</i> sp.          部位：頭骨（頭蓋と下顎）          産地：アメリカ合衆国          時代：中生代白亜紀後期          大きさ：L190×W130×H160 cm          メモ：白亜紀後期の北米を代表する草食恐竜（角竜類）。ティラノサウルスと並び有名な恐竜。</p>	
<p>② ヘスペロサウルス全身骨格（実物）</p> <p>学名： <i>Hesperosaurus mjosi</i>          部位：全身骨格          産地：アメリカ合衆国          時代：中生代ジュラ紀後期          大きさ：L600×H280×W165 cm          メモ：ステゴサウルスに近縁なジュラ紀の大型草食恐竜。          ※ 写真はレプリカを組み上げたもの</p>	<p>世界初公開</p> 
<p>③ エドモントニア全身骨格（実物）</p> <p>学名： <i>Edmontonia</i> sp.          部位：全身骨格          産地：アメリカ合衆国          時代：中生代白亜紀後期          大きさ：L420×W180×H180 cm          メモ：鎧のような装甲で全身を覆った大型の草食恐竜（コリノドン）。          ※ 写真はレプリカを組み上げたもの</p>	<p>日本初公開</p> 
<p>④ ディメトロドン全身骨格（実物）</p> <p>学名： <i>Dimetrodon limbatus</i>          部位：全身骨格          産地：アメリカ合衆国          時代：古生代ペルム紀          大きさ：全長300cm（頭骨35cm）          メモ：古生代の単弓類（哺乳類型爬虫類）を代表する肉食動物。</p>	<p>日本初公開</p> 
<p>⑤ エラスモサウルス全身骨格（実物）</p> <p>学名： <i>Elasmosauridae</i> gen. et sp. indet.          部位：全身骨格          産地：アメリカ合衆国          時代：中生代白亜紀          大きさ：全長1200cm          メモ：長い首とヒレ状の足をもつ海の大型爬虫類であるクビナガ竜の代表格。          ※ 2015年度に組み上げたものを常設展示。</p>	
<p>⑥ ステノプテリギウス全身骨格（実物）</p> <p>学名： <i>Stenopterygius</i> sp.          部位：全身骨格          産地：ドイツ          時代：中生代ジュラ紀前期          大きさ：L320×W110×H20 cm          メモ：板状の岩盤に埋まったままの魚竜（魚のような姿をした海生爬虫類）。腹部には幼体が1個体入っており、卵胎生であることを示す貴重な化石。</p>	
<p>⑦ プテロダクティルス全身骨格（実物）</p> <p>学名： <i>Pterodactylus antiquus</i>          部位：全身骨格          産地：ドイツ          時代：中生代ジュラ紀後期          大きさ：約25cm（化石部分）          メモ：板状の岩盤に埋まったままの小型の翼竜（空を飛ぶ爬虫類）化石。非常に保存が良い。</p>	
<p>⑧ シーラカンス全身骨格（実物）</p> <p>学名： <i>Coelacanthiformes Latimeriidae</i> gen. et. sp. indet.          部位：全身骨格          産地：ドイツ          時代：中生代ジュラ紀後期          大きさ：L87×W57×H2.5 cm、体長62cm          メモ：生きている化石として有名なシーラカンスの実物化石。板状の岩盤に埋まった状態。</p>	

標本の概要

<p>⑨ シファクティヌス全身骨格（複製）</p> <p>学名: <i>Xiphactinus</i> sp.          部位: 全身骨格          産地: アメリカ合衆国          時代: 中生代白亜紀後期          大きさ: L360×W80×H190 cm          メモ: 恐竜時代の海にいた巨大な魚類。</p>	
<p>⑩ アルシノイテリウム頭骨（複製）</p> <p>学名: <i>Arsinoitherium zitteli</i>          部位: 全身骨格          産地: エジプト          時代: 新生代古第三紀漸新世前期          大きさ: 体長350 cm          メモ: 見た目がサイに似た絶滅大型哺乳類。</p>	
<p>⑪ メガケロプス頭骨（実物）</p> <p>学名: <i>Megacerops platyceras</i>          部位: 全身骨格          産地: アメリカ合衆国          時代: 新生代古第三紀漸新世前期          大きさ: L90×W65×H55cm          メモ: サウスダコタ州ホワイトリバー層産出で、非常に保存が良く大型の頭骨。          ※ フロントテリウムとされていたが、学名が変更された。</p>	
<p>⑫ スミロデクテス全身骨格（実物）</p> <p>学名: <i>Smilodectes gracilis</i>          部位: 全身骨格          産地: アメリカ合衆国          時代: 新生代古第三紀始新世中期          大きさ: L60×H30cm          メモ: ワイオミング州グリーンリバー層群ブリジャー層産出で、約60%の全身骨格。原始的な霊長類で、人類進化の展示には重要な化石。</p>	
<p>⑬ メリコイドドン全身骨格（実物）</p> <p>学名: <i>Merycoidodon gracilis</i>          部位: 全身骨格          産地: アメリカ合衆国          時代: 新生代古第三紀漸新世          大きさ: L87×W43×H23cm          メモ: 成体1、亜成体1、胎児5(成体の化石の下に位置)からなる集団化石。ワイオミング州ホワイトリバー層産出。保存のよい化石である。</p>	
<p>⑭ ヒエノドン全身骨格（実物）</p> <p>学名: <i>Hyaenodon cruentus</i>          部位: 全身骨格          産地: アメリカ合衆国          時代: 新生代古第三紀漸新世          大きさ: L100×W50×H12cm          メモ: ワイオミング州ホワイトリバー層産出。肉食哺乳類。</p>	

■ 作業エリア





2階「生命の歴史」ゾーン 設置場所

■ 作業エリア

